

対策検討における計画 Rsa 設定方法について

これまで『流出予測』に用いてきた計画 Rsa は、小流域毎に損失高を 43mm とし各地目 Rsa を設定した。

今後、総合治水の検討を行う『対策検討』にあたり、計画 Rsa の設定方法を以下のように設定する。

『流出予測』・・・流域全体（甲武橋地点流域）の所定の損失高（43mm）を確実にするため、各小流域での損失高が 43mm となるよう、各小流域で各地目の Rsa を設定する。《従来の方法》

『対策検討』・・・各小流域の流域特性（地目構成）に応じた損失高を評価することが主目的となるので、流域全体の損失高（43mm）から求めた各地目 Rsa を全流域に適用する。

計画 Rsa 設定値

単位 (mm)

	市街地	畑	水田	ゴルフ場	池	山林
流出予測	37	177	28	151	27	72
対策検討	27	149	25	149	25	74

検討対象降雨ピーク流量

単位 (m³/s)

	H16.10.18 型モデル降雨	S57.7.28 型降雨
流出予測	4636	3818
対策検討	4651	3844